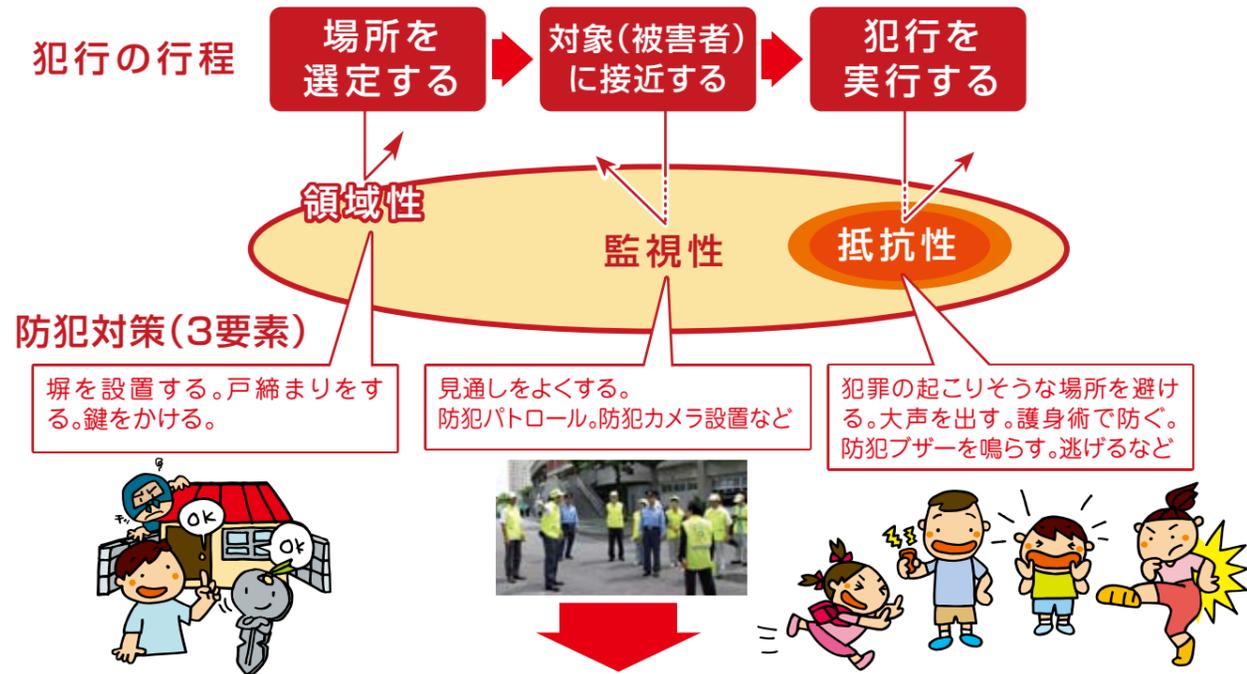


犯罪を予防するための要素(犯罪機会論)

犯罪機会論… 地域の環境づくりをすることで防犯効果が高まるという理論(例: 割れ窓理論)



- ① 外出時には、周囲への目配り・あいさつをしよう。
- ② 買い物や庭木の水やりは登下校時に。子どもを見守ろう。
- ③ こまめに鍵をかけよう。
- ④ 「ゴミ拾い、落書き消しなど、地域の環境管理をしよう。
- ⑤ 地域の防犯パトロール活動に参加しよう。



「防犯の環境づくり」が「犯罪の機会」を減らす。

ちゅうらさん運動とは…

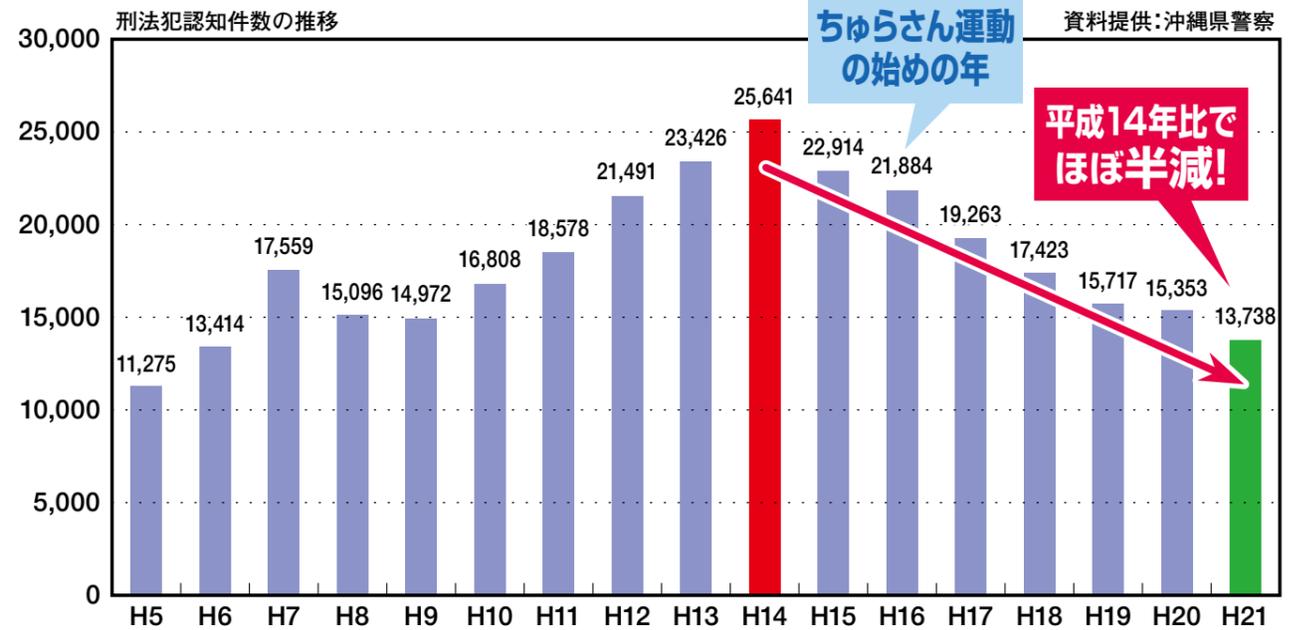
ちゅうらさん運動は、犯罪の起こりにくい沖縄県をつくるために、県、市町村、事業者、学校、警察、県民のみならずが一体となって取り組んでいるさまざまな防犯に関する活動です。



沖縄県の刑法犯認知件数の推移

沖縄県内の犯罪は、平成14年から7年連続減少しています。これは、平成16年に始まった「ちゅうらさん運動」が貢献しているといえるでしょう。

しかし、凶悪事件に発展しかねない子どもに対する声かけ事案が後を絶たないことから、「ちゅうらさん運動」を継続していく必要があります。



平成21年中、もっとも多い罪種は窃盗で、約9,800件、被害総額約6億円! 窃盗被害の約半数が鍵かけが不十分! 就寝・出かける際は、鍵かけを徹底! 自転車・オートバイは二重ロックをお願いします。

ちゅうらさん運動 3つのちゅうづくりの総称

ちゅうらゆいづくり 警察本部

○防犯ボランティアの結成・支援・パトロール活動

自主防犯活動の定着拡大を図るため防犯ボランティアの育成活動、装備品の支給や防犯の知識向上を図る講座を開催しています。

ちゅうらまちづくり 知事部局

○公共施設の防犯・安全点検

通学路や公園、公共施設等の管理者が夏休み前に施設の点検を行って子どもたちが安全で安心して利用できるようにしています。

○まちづくり講習会・地域安全マップ製作指導者講習会

防犯の意識や防犯に関する知識を向上させるために、各種講習会を開催しています。

ちゅうらひとづくり 教育庁

○子ども安全マップづくり

子どもたちに危険予測、犯罪回避能力を身につけさせるため、地域の住民にインタビューしながら調査させて、安全マップを作成する活動。

これによって子どもたちのコミュニケーション能力も向上し、地域住民も子どもたちの行動に関心を持つようになるという流れ、全国各地で行われています。

○子ども安全教室

学校・警察署が連携して、侵入事案対策の訓練を実施しています。

犯罪のない安全・安心な沖縄県

お問い合わせ ● 県民生活課 TEL:098-866-2187 FAX:098-866-2789